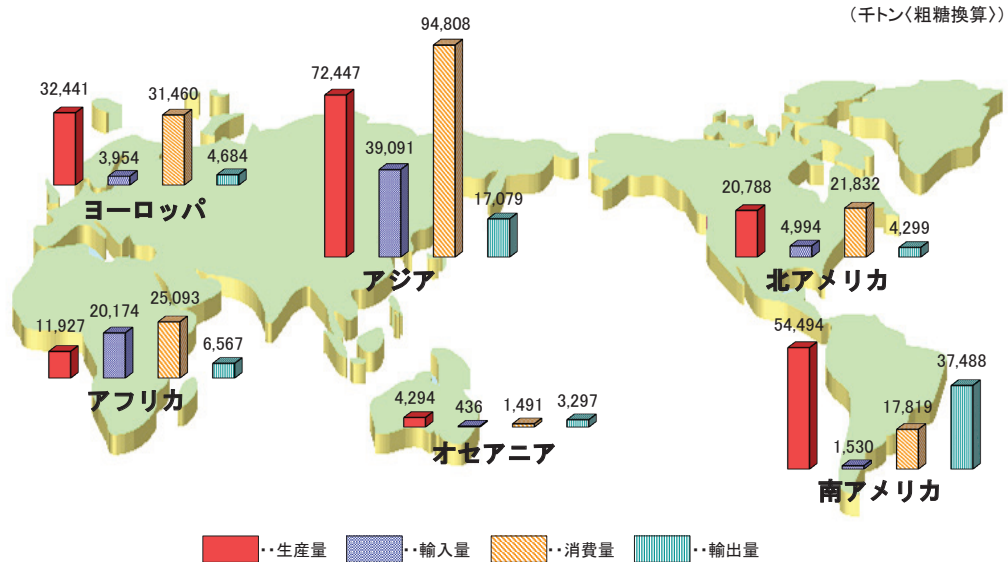


砂糖の国際需給

調査情報部 福寿 悠星、峯岸 啓之

1 世界の砂糖需給（2024年9月時点予測）

図1 絵で見る世界の地域別砂糖需給（2024/25年度予測値）



資料：英国の民間調査会社GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2024」
 注1：年度は、国際砂糖年度（10月～翌9月）。
 注2：ヨーロッパには、ロシアを含む。

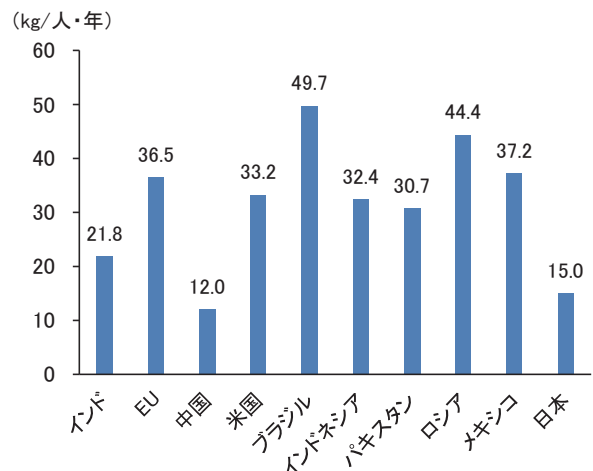
GlobalData UK Ltd.（農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社）による2024年9月時点の予測によると（以下、特段の断りがない限り同予測に基づく記述）、2024/25砂糖年度（10月～翌9月）の世界の砂糖生産量は、1億9639万トン（粗糖換算〈以下、特段の断りがない限り砂糖に関する数量は粗糖換算〉）、前年度比0.3%増）と前年度並みが見込まれている（表）。生産量第1位のブラジルや同第2位のインドで減産が見込まれる一方、EUや中国などでは増産が見込まれている。

また、同年度の世界の砂糖消費量は、1億9250万トン（同0.2%増）と前年度並みが見込まれている。消費量第1位のインドを筆頭に中国、インドネシアなどのアジア諸国で増加が見込まれているものの、ブラジルやEUでは前年度並みと見込まれている。

この結果、期末在庫率は前年度並みの42.3%と

見込まれている。地域別の砂糖需給の予測値は、図1の通りである。また、主要消費国・地域の1人当たり砂糖消費量は図2の通りである。

図2 1人当たり砂糖消費量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2024」
 注1：年度は、各国の砂糖年度。
 注2：EUには、英国を含む。
 注3：主要消費量・地域上位9カ国・地域および日本を表示。

表 世界の砂糖需給の推移

(単位：千トン〈粗糖換算〉、%)

年度	期首在庫量	生産量	輸入量	消費量	輸出量	期末在庫量	期末在庫率
1994/95	48,887	116,773	31,802	112,814	32,521	52,126	46.2
1999/00	68,592	133,221	36,600	127,777	39,788	70,848	55.4
2004/05	71,495	144,294	47,126	146,602	50,697	65,615	44.8
2009/10	64,724	159,790	55,848	164,415	55,989	59,959	36.5
2014/15	75,460	183,101	60,913	177,018	62,434	80,022	45.2
2019/20	89,771	181,819	69,502	182,713	71,584	86,796	47.5
2020/21	86,796	181,921	66,808	185,150	68,007	82,367	44.5
2021/22	82,367	186,153	69,410	188,439	71,223	78,268	41.5
2022/23	78,268	190,908	70,896	190,199	71,493	78,381	41.2
2023/24	78,381	195,764	75,660	192,131	76,898	80,776	42.0
2024/25 (2024年9月予測)	80,776	196,391	70,180	192,504	73,415	81,428	42.3

資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2024」

注1：年度は国際砂糖年度（10月～翌9月）。

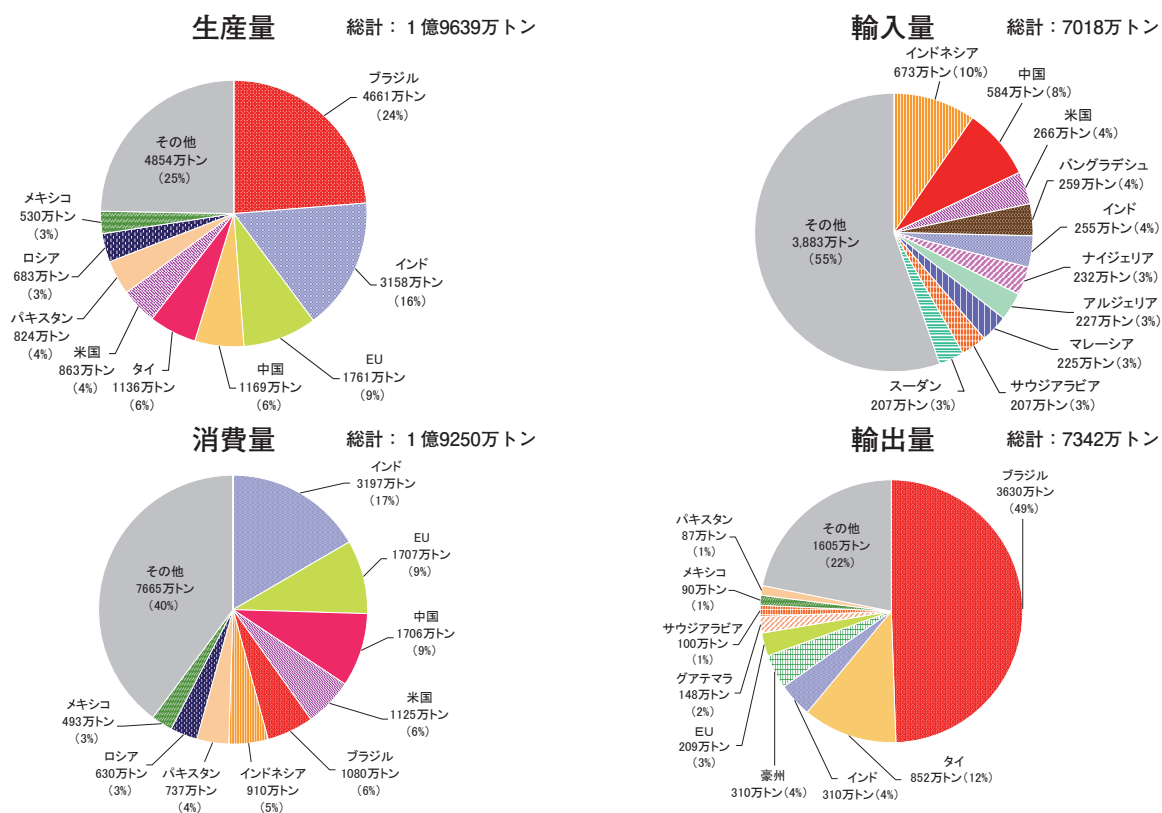
注2：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注3：期末在庫量は（期首在庫量＋生産量＋輸入量－消費量－輸出量）。

注4：期末在庫率は、期末在庫量を消費量で除した割合。

2 主要国の砂糖需給（2024年9月時点予測）

図 主要国の生産量、輸入量、消費量、輸出量（2024/25年度）



資料：GlobalData UK Ltd. 「Quarterly Statistical Update, September 2024」

注1：年度は、各国の砂糖年度。

注2：各数量においては、その主要国とその他を表示。カッコ内はシェア (%)

注3：「その他」は、総計から主要国の計を差し引いた数値。

注4：端数処理の関係で内訳の合計が総計と一致しないまたは100%にならない場合がある。

注5：EUは、英国を除く27カ国。

【生産量】

ブラジルは、干ばつ傾向にある中でもサトウキビの収量は一定程度確保されるものの、搾汁液の純度が低いことで前回の増加予測から一転し、4661万トン（前年度比5.5%減）とやや減少が見込まれている（図）。

インドは、モンスーンの降雨によりサトウキビが順調に生育し、収量は期待できるものの、赤腐病（red rot）^{（注1）}の発生や政府が製糖工場でのサトウキビ由来のエタノール生産制限を解除したことから、3158万トン（同8.9%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

EUは、2024/25年産の作付けが遅れて湿潤した土壌での生育となったものの、天候の回復に加え、主産地の多くで懸念されていた萎黄病^{（注2）}の被害が予想よりも少なかったことから、1761万トン（同7.5%増）とかなりの程度増加が見込まれている。

中国は、生産者がトウモロコシやばれいしょなどからサトウキビやてん菜に作付けを転換したことに加え、サトウキビの主産地である広西チワン族自治区と雲南省が天候に恵まれたことで収量も期待できることから、1169万トン（同25.5%増）と大幅な増加が見込まれている。

【輸入量】

中国は、国内の需給ギャップを埋めるため、ブラジルからの輸入を軸に一定の輸入量が見込まれるものの、政府が7月から保税倉庫に保管された輸入精製糖から液糖やプレミックス製品の生産に仕向けることを制限する新たな規制を導入したことから、584万トン（同20.3%減）と大幅な減少が見込ま

れている。

インドネシアは、人口の増加に伴い消費量が順調に伸びていることから、673万トン（同20.6%増）と大幅に増加し、中国を抜いて輸入量第1位になると見込まれている。

【消費量】

インドは、堅調な需要に後押しされ、3197万トン（同2.1%増）とわずかに増加し、世界の砂糖総消費量の17%を占めると見込まれている。

EU、ブラジルなどが前年度並みと見込まれる中、消費量第3位の中国は、1706万トン（同0.6%増）、インドネシアは、人口の増加に伴う消費量の増加から、910万トン（同2.8%増）といずれもわずかに増加すると見込まれている。

【輸出量】

ブラジルは、生産量の減少とともに3630万トン（同3.7%減）とやや減少する一方、タイは、収穫面積の増加などにより増産が見込まれることから、852万トン（同36.6%増）と大幅な増加が見込まれている。

インドは、政府による砂糖の輸出制限が継続されていることやサトウキビ由来のエタノール生産解禁により、310万トン（同25.5%減）と大幅な減少が見込まれている。

（注1）真菌の感染によって引き起こされる病気で、茎の内部が腐り、赤色に変色する。サトウキビの単収や砂糖の回収率に深刻な影響を与えるとされている。

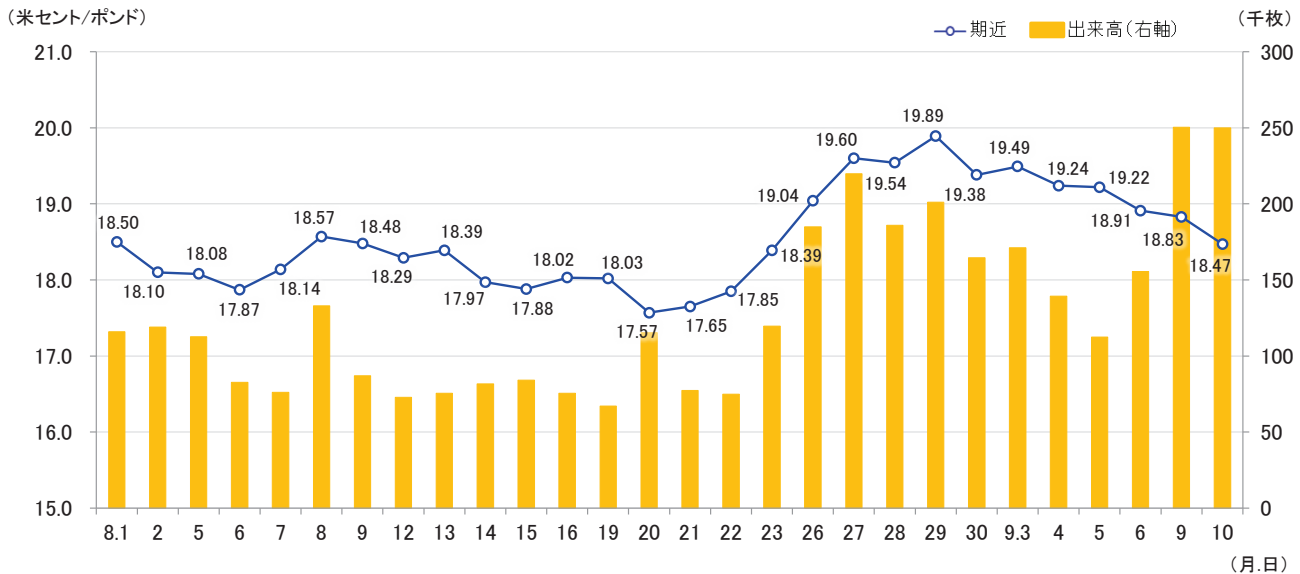
（注2）アブラムシによって媒介される植物ウイルス病。

3 国際価格の動向

ニューヨーク粗糖先物相場の動き（8/1～9/10）

～主要国での増産見込みで1年10カ月ぶりの安値の後、ブラジルの火災被害により一時急騰～

図 ニューヨーク粗糖先物相場の動き



資料：インターコンチネンタル取引所
注：期近10月限の値。

2024年8月のニューヨーク粗糖先物相場（10月限）の推移を見ると、7月末にインドのモンスーン期の降水量が回復したとする報道によりサトウキビの増産が見込まれたことで、1日は1ポンド当たり18.50セント^(注1)をつけ、6日には同17.87セントまで下落した。7日以降はリアル高^(注2)やインドの砂糖輸出規制の継続が発表され、8日は同18.57セントまで上昇した。9日以降はブラジルやインドでの増産見込みにより緩やかに下落し、16日以降はリアル高で一時上昇したものの、主要国の増産見込みは相場を押し下げ、20日には同17.57セントと1年10カ月ぶりの安値を記録した。21日以降はドル安やブラジル国家食糧供給公社（CONAB）による生産予測が下方修正されたことなどから相場が上昇する中で、23日にはブラジルのサンパウロ州で発生した火災被害により減産懸念が強まり、27

日には同19.60セントまで急騰した。28日はブラジルサトウキビ産業協会（UNICA）がブラジル中南部の増産を報告したことから小幅に値を下げたものの、同火災が相場に強く影響し、29日は同19.89セントまで上昇した。30日はリアル安により、同19.38セントと下落した。

9月に入ると、火災被害による減産懸念が続く中、8月末に国際砂糖機関（ISO）が24/25年度の世界の砂糖供給量を下方修正したことやインド政府が製糖工場でのサトウキビ由来のエタノール生産制限を解除したことなどから、3日は同19.49セントと上昇した。4日以降は原油安^(注3)やインドのモンスーン期の降水量が平年を上回ったことでサトウキビの増産期待から下落し、10日は同18.47セントをつけた。

(注1) 1ポンドは約453.6グラム、1米セントは1米ドルの100分の1。

(注2) 粗糖は米ドル建てで取引されるため、米ドルに対してレアルが上昇すると、相対的にブラジル産粗糖の価格競争力が弱まる。世界最大の砂糖輸出国ブラジルの輸出意欲が低下すると、需給のひっ迫につながることから、価格を押し上げる方向に作用する。

(注3) 一般に、原油価格が下落すると、石油の代替燃料

であるバイオエタノールの需要も減少する。バイオエタノールの需要減少により、その原料作物(サトウキビ、てん菜など)のバイオエタノール生産への仕向けが減る一方、それらから生産される食品(サトウキビの場合は砂糖)の生産・供給が増えると想定される。食品用途仕向けの度合いが大きくなるほど需給が緩和し、当該食品の価格を押し下げる方向に作用する。

4 世界の砂糖需給に影響を与える諸国の動向(2024年9月時点予測)

ブラジル

2024/25年度(4月~翌3月)の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：871万ha(前年度比3.5%増)

生産量：6億6311万トン(同7.0%減)

【砂糖(甘しや糖)】

生産量：4661万トン(同5.5%減)

輸出量：3630万トン(同3.7%減)

2024/25年度のサトウキビ生産量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度(4月~翌3月)のサトウキビ収穫面積は、871万ヘクタール(前年度比3.5%増)とやや増加が見込まれている(表)。一方、サトウキビ生産量は、中南部地域で続く干ばつや森林火災による作柄および収量悪化の懸念により、6億6311万トン(同7.0%減)とかなりの程度減少が見込まれている。

砂糖生産量は、干ばつや森林火災がサトウキビの品質などに悪影響を及ぼし、搾汁液の純度を低くさせたことから、4661万トン(同5.5%減)とやや減少が見込まれている。砂糖輸出量は、インド産砂糖の輸出制限から、引き続き国際市場でのブラジル産砂糖の堅調な需要が期待されるものの、減産を背景に3630万トン(同3.7%減)とやや減少が見込まれている。

表 ブラジルの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

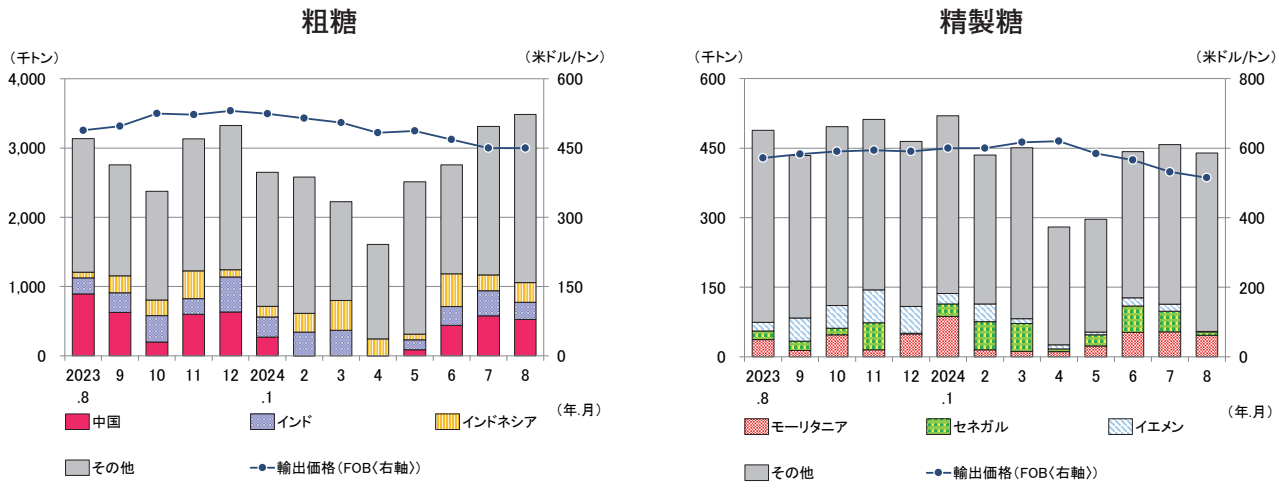
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (8月予測)	2024/25 (9月予測)	前年度比 (増減率)
サトウキビ収穫面積	8,672	8,421	8,408	8,741	8,706	3.5%
サトウキビ生産量	576,707	606,676	713,134	662,940	663,108	▲7.0%
砂糖	生産量	37,600	39,700	49,320	47,090	▲5.5%
	輸入量	5	2	5	4	▲22.0%
	消費量	10,712	10,769	10,800	10,800	0.0%
	輸出量	27,093	28,985	37,677	36,828	▲3.7%
	期末在庫量	3,589	3,537	4,385	3,795	▲11.1%
	期末在庫率	9.5	8.9	9.0	8.0	8.3

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) ブラジルの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



インド

2024/25年度 (10月～翌9月) の見通し

【サトウキビ】

収穫面積: 517万ha (前年度比6.8%減)
 生産量: 4億3010万トン (同3.3%減)

【砂糖 (甘しや糖)】

生産量: 3158万トン (同8.9%減)
 輸出量: 310万トン (同25.5%減)

2024/25年度の砂糖輸出量は輸出制限の継続により大幅に減少する見込み

2024/25年度 (10月～翌9月) のサトウキビ収穫面積は、517万ヘクタール (前年度比6.8%減) とかなりの程度減少が見込まれている (表)。サトウキビ生産量は、北部での赤腐病 (red rot) の発生や主産地であるマハラシュトラ州で株出し栽培が増えていることから、4億3010万トン (同3.3%減)

とやや減少が見込まれている。

砂糖生産量は、インド政府が製糖工場でのサトウキビ由来のエタノール生産制限を解除したことなどから、3158万トン (同8.9%減) とかなりの程度減少が見込まれている。砂糖輸出量は、政府による砂糖の輸出制限が継続されていることや国内供給量の確保により、310万トン (同25.5%減) と大幅な減少が見込まれている。

表 インドの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

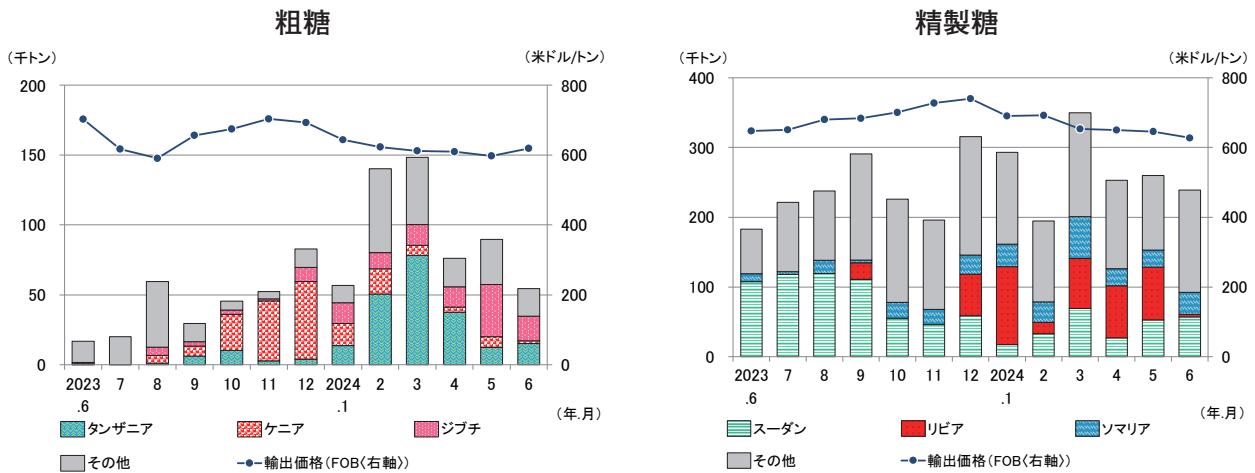
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (9月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	5,222	5,441	5,549	5,172	▲ 6.8%	
サトウキビ生産量	481,599	455,898	444,740	430,098	▲ 3.3%	
砂糖	生産量	38,559	35,389	34,677	31,582	▲ 8.9%
	輸入量	427	1,687	3,244	2,552	▲ 21.3%
	消費量	29,516	30,078	31,320	31,968	2.1%
	輸出量	12,468	8,646	4,165	3,103	▲ 25.5%
	期末在庫量	6,473	4,824	7,260	6,324	▲ 12.9%
	期末在庫率	15.4	12.5	20.5	18.0	2.4ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) インドの砂糖（粗糖・精製糖別）の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。

E U

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【てん菜】

収穫面積：156万ha（前年度比11.5%増）

生産量：1億1435万トン（同14.6%増）

【砂糖（てん菜糖）】

生産量：1761万トン（同13.8%増）

輸出量：209万トン（同2.3倍）

2024/25年度の砂糖輸出量は砂糖の増産を背景に大幅な増加の見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のてん菜収穫面積は、主産地であるフランスやデンマークなどで作付面積の増加が見込まれることから、156万ヘクタール（前年度比11.5%増）とかなり大きく増加

が見込まれている（表）。てん菜生産量は、作付面積の増加に加え、萎黄病の被害が予想よりも少なかったことなどから、1億1435万トン（同14.6%増）とかなり大きく増加が見込まれている。

砂糖生産量は、てん菜の増産を背景に1761万トン（同13.8%増）とかなり大きく増加が見込まれて

いる。砂糖輸入量は、22/23年度から増加していたウクライナ産砂糖に対しセーフガード措置が発動^(注)されたことなどにより、159万トン（同51.4%減）と大幅な減少が見込まれている。一方、砂糖輸出量は、砂糖の増産を背景に209万トン（同2.3倍）と大幅な増加が見込まれている。

(注) 詳細については、2024年7月5日付け海外情報「ウクライナ産砂糖および卵へのセーフガード措置発動(EU)」(https://www.alic.go.jp/chosa-c/joho01_003869.html) をご参照ください。

表 EUの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

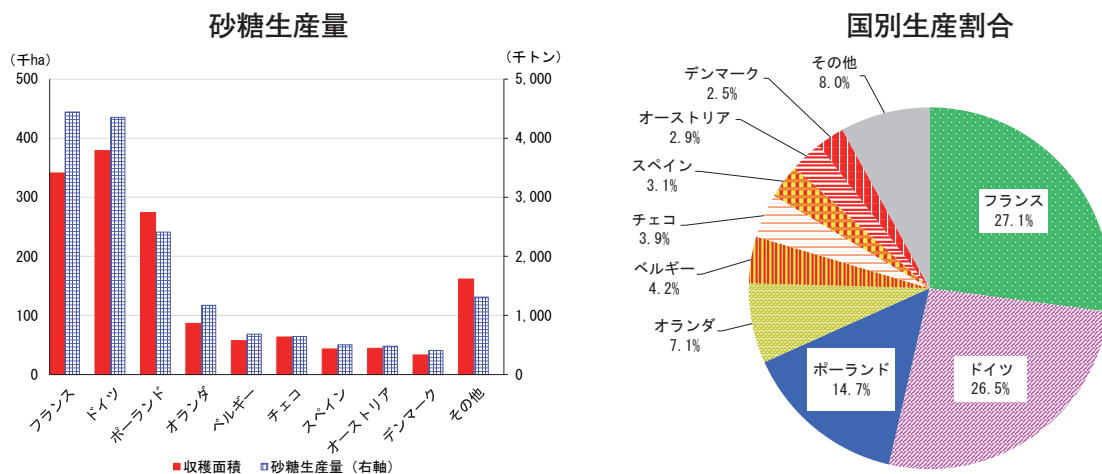
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (9月予測)	前年度比 (増減率)	
てん菜収穫面積	1,474	1,454	1,398	1,558	11.5%	
てん菜生産量	98,500	111,391	99,760	114,354	14.6%	
砂糖	生産量	14,962	17,397	15,480	17,610	13.8%
	輸入量	1,888	2,144	3,267	1,588	▲ 51.4%
	消費量	16,609	17,970	17,238	17,069	▲ 1.0%
	輸出量	1,262	1,251	911	2,090	2.3倍
	期末在庫量	1,327	1,646	2,244	1,697	▲ 24.4%
	期末在庫率	7.4	8.6	12.4	8.9	3.5ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) EUの砂糖生産量および国別の生産割合の見通し（2024/25年度）（2024年7月時点）



資料：欧州委員会

注1：精製糖換算

注2：数値は予測値。

資料：欧州委員会

5 日本の主要輸入先の動向（2024年9月時点予測）

近年、日本の粗糖（甘しや糖・分みつ糖<HSコード1701.14-110>および甘しや糖・その他<同1701.14-200>の合計）の主要輸入先は、豪州およびタイである。2023年の主要輸入先の割合を見ると、豪州が91.6%（前年比0.8ポイント増）、タイが8.4%（同0.9ポイント減）と、両国でほぼ全量を占めている（財務省「貿易統計」）。

豪州

2024/25年度（4月～翌3月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：34万ha（前年度比0.2%減）

生産量：3076万トン（同3.4%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：413万トン（同0.0%増）

輸出量：310万トン（同7.6%減）

2024/25年度の砂糖輸出量はかなりの程度減少する見込み

2024/25年度（4月～翌3月）のサトウキビ収穫面積は、34万ヘクタール（前年度比0.2%減）と前年度並みが見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、8月の豪雨により収穫が遅れているものの、生育が順調に進んだことから、3076万トン（同3.4%増）とやや増加が見込まれている。

砂糖生産量は、413万トン（同0.0%増）と前年度並みが見込まれている。現地報道によると、豪州最大の精糖企業で発生したストライキがいまだ解決

しておらず、サトウキビの破碎が遅れ、8月時点の破碎量は前年度を下回って推移しているとされるが、CCS^(注)の数値は前年度よりも高まることが予想されている。砂糖輸出量は、アジア地域を中心に需要の伸びが引き続き期待されるものの、砂糖の減産見込みにより、310万トン（同7.6%減）とかなりの程度減少が見込まれている。

(注) 可製糖率：サトウキビのショ糖含有率、繊維含有率および搾汁液の純度から算出される回収可能な糖分の割合。

表 豪州の砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

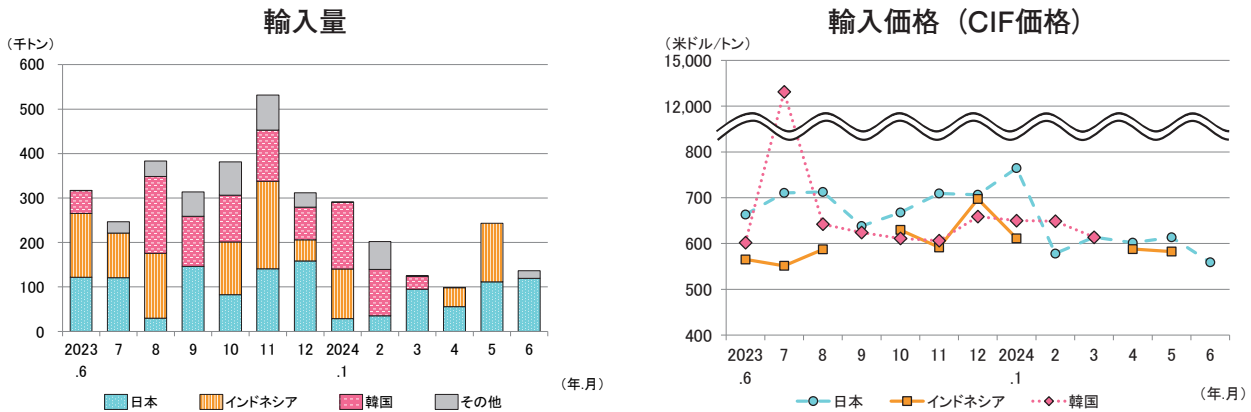
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (8月予測)	2024/25 (9月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	343	328	341	340	340	▲ 0.2%	
サトウキビ生産量	30,123	32,593	29,757	31,153	30,759	3.4%	
砂糖	生産量	4,108	4,298	4,128	4,140	4,129	0.0%
	輸入量	9	8	10	11	11	15.1%
	消費量	1,037	1,033	1,030	1,038	1,038	0.7%
	輸出量	3,453	2,942	3,356	3,113	3,102	▲ 7.6%
	期末在庫量	777	1,107	858	470	858	▲ 0.0%
	期末在庫率	17.3	27.8	19.6	11.3	20.7	1.2ポイント増

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) 主要国の豪州産砂糖（粗糖）の輸入量および輸入価格の推移



資料：輸入量はGlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2024」、輸入価格は「Global Trade Atlas」
 注1：HSコード1701.14（粗糖）の数値。
 注2：直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域とその他の輸入量を表示。
 その他は上位3カ国・地域を除いた国・地域の合計。
 ただし、GlobalData UK Ltd.の資料に掲載されている国・地域となる。
 注3：豪州の輸出に関する月別の統計情報は公表されていないため、主要輸入国の月別の輸入に関する統計情報に基づき作成。
 注4：インドネシアの2023年9月、24年2月、3月、6月の輸入量は実績なし。
 注5：韓国の2024年4月、5月、6月の輸入量は実績なし。23年7月の輸入量は、千トン未満。

タイ

2024/25年度（10月～翌9月）の見通し

【サトウキビ】

収穫面積：167万ha（前年度比10.0%増）
 生産量：9800万トン（同19.3%増）

【砂糖（甘しや糖）】

生産量：1169万トン（同25.5%増）
 輸出量：852万トン（同36.6%増）

2024/25年度の砂糖生産量はサトウキビの増産により、大幅に増加する見込み

2024/25年度（10月～翌9月）のサトウキビ収穫面積は、167万ヘクタール（前年度比10.0%増）とかなりの程度増加が見込まれている（表）。サトウキビ生産量は、収穫面積の増加と良好な天候に支

えられ、9800万トン（同19.3%増）と大幅な増加が見込まれている。

砂糖生産量は、サトウキビの増産を背景に1169万トン（同25.5%増）と大幅な増加が見込まれている。砂糖輸出量は、砂糖の増産を背景に852万トン（同36.6%増）と大幅な増加が見込まれている。

表 タイの砂糖需給の推移

(単位：千ha、千トン、%)

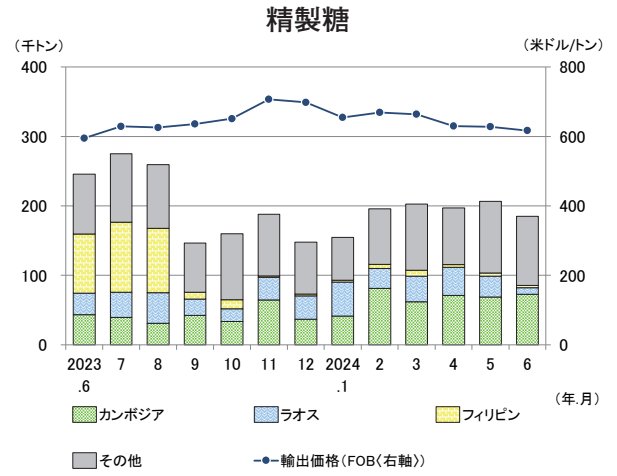
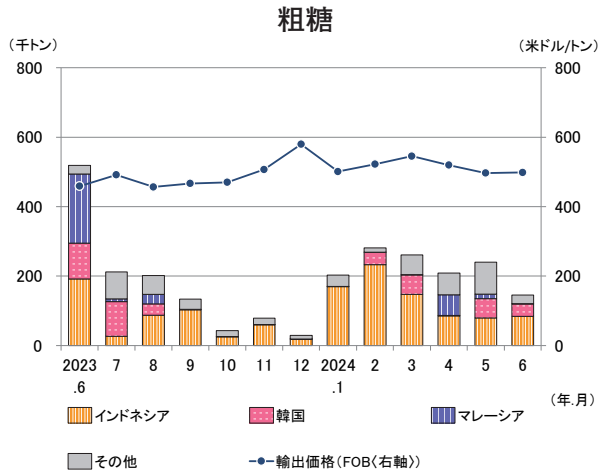
年度	2021/22	2022/23	2023/24	2024/25 (9月予測)	前年度比 (増減率)	
サトウキビ収穫面積	1,525	1,514	1,518	1,670	10.0%	
サトウキビ生産量	91,145	93,888	82,167	98,000	19.3%	
砂糖	生産量	10,643	11,682	9,316	11,691	25.5%
	輸入量	149	284	180	180	0.0%
	消費量	3,424	3,348	3,321	3,356	1.0%
	輸出量	7,867	8,002	6,235	8,515	36.6%
	期末在庫量	1,951	2,567	2,507	2,507	0.0%
	期末在庫率	17.3	22.6	26.2	21.1	5.1ポイント減

資料：GlobalData UK Ltd. 「Monthly Sugar Information in Major Countries, September 2024」

注1：2022/23年度および2023/24年度の数値は推定値、2024/25年度の数値は予測値。

注2：期末在庫量、期末在庫率および各項目の前年度比は、端数処理の関係で表中の値の計算結果と一致しない場合がある。

(参考) タイの砂糖 (粗糖・精製糖別) の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード1701.14（粗糖）および1701.99（精製糖）の数値。

注2：輸出量は、直近13カ月（累計）の上位3カ国・地域を表示。